

団地が育てた風景

全国団地景観サミット

UR賃貸住宅

フォト＆スケッチコンテスト

入選作品集

団地 × 風景

目 次

ごあいさつ	3
審査講評	4
最優秀賞	8
優秀賞	10
応募作品集1	18
特別賞	20
応募作品集2	26
入 賞	28
佳 作	44
応募作品集3	46
コンテスト属性データ	47
コンテストの概要	48

- ・各審査員より特に推薦の多かった作品には、審査員コメントを掲載しております。
- ・入選者および有識者審査員の敬称は略させていただきます。
- ・入選作品の紹介内容は、以下の順で掲載しております。
賞名／作品タイトル／団地名称（郡道府県）／氏名／メッセージ
- ・応募作品集1～3は規定審査・一次審査を通過した作品をトリミング加工の上、掲載しております。

ごあいさつ

「UR賃貸住宅フォト＆スケッチコンテスト」は、UR都市機構によって建設された全国の団地において、建設以来、お住まいの皆様と共に育んできた豊かな環境の価値について、「団地が育てた風景」という観点で、より多くの方々に知っていただくことを目的に、開催いたしました。

「全国団地景観サミット」と言う名称は、全国の美しい「団地景観」が一堂に会することを「サミット」になぞらえたもので、皆様のご協力のもと、文字通り全国から選りすぐりの団地景観が、顔を揃えています。

皆様の応募作品からは、お住まいの方々が団地と共に育んできた歴史や、お子様との思い出など団地へのあたたかく深い想い、また、団地を舞台とした活力溢れる生活シーンや新しいライフスタイル像をかいまみることができ、今後の団地の再生への視座をいただくことができました。

主催者であるUR都市機構としても、これまで育んできた団地の環境や景観、また、団地の建替によって再生された団地景観の価値を高く評価し、地域の資産として、今後もその環境を守り育てていくことの責任を改めて強く認識させていただいた次第です。

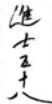
UR賃貸住宅の団地の風景に、皆様方がこれまで以上に愛着をもっていただき、住みたい、住み続けたいと思っていただけるような環境づくりに今後とも取り組んでいきたいと思っています。

審査講評

進士 五十八

「空間的広がりと多様性」と「時間的成熟と落ち着き」

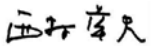
一口に団地と言ってもいろいろな風景がある。建物とか緑地とかフィジカルなものだけでなく、暮らしりも含めて、実に多面的で豊かな表情をもっている。これからも場所性とライフスタイルのバリエーションを考えて欲しい。もう一つのポイントは時間的成長。落ち着いていい町になっているということ。いままでの資料には新しいできたてのピカピカが掲載されていたが、今回の作品からはその土地に馴染んだ建物、草やタンポポと共生する生活など、時間的成熟が強く感じられた。



西村 幸夫

想いがこもった作品と「ふるさと」になっている団地

すごく想いがこもっていることと、環境が心地良かったのだろうなと感じるようなものが非常に多かったですね。ずっと長いこと住み続けてきて、これからも死ぬまでここにいたいというコメントもあり、ここが「ふるさと」のようになっているということがよくわかりました。少し残念だったのは、今回は規定の関係上、自分の部屋から見た景色が応募対象とならなかったことです。今後は私だけの風景とかマイ団地というようなものがあるともっといいと思いますね。



城戸 真亜子

あたたかな目線と人のぬくもり

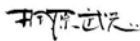
皆さんの作品を拝見していてうれしかったことが2つあります。その一つは、団地は緑豊かなスペースだと再発見できたこと。もう一つは、自分の住んでいるところに対する目線にあたたかさ、愛情が感じられる作品ばかりだったことです。格好良く描こうとすると冷たいものになりがちですが、それを阻む魅力が団地にはあって、そのあたりが他のコンテストとは大きく違うところだと思いました。団地の性格上、建物と人の暮らしというものが切り離せないもののだと感じました。四季折々の作品を拝見してみたいですね。



桐原 武志

団地の原点は、「人々が集まって住もうコミュニティ」

団地の原点は人々が集まって住まうこと。そんなコミュニティがなくなっていると思っていたら、それがまだあることがわかりました。これからは「集合して住まう」ということを、写真やスケッチ、コメントにある視点から読み取れるといいなと思いました。絵を描いたり写真を撮ることで、もう一度自分たちが住んでいる団地を見直す機会になり、それを見ることで居住者の方々も管理している方々も元気になるっていいと思います。団地の重ねてきた年月の重み、時間の風合いなどを強く感じました。



池 邊 こ の み

すがすがしい空気と空間の心地よさ、そして強い生命力

写真やスケッチから、ふしぎと空気のすがすがしさや空間の心地よさ、そして強い生命力を感じました。花や樹木が生き活きしていて、特に北海道の作品の白樺やタンポポ等には大変感動しました。また、今回のコンテストは、メッセージが写真やスケッチと同程度のウエイトでの評価で、皆様にはややハードルが高かったかもしれませんが、団地への想いが強く伝わってきたのが、とても良かったです。メッセージ賞は設けませんでした。が、メッセージが高く評価されて入選した作品も数多くありました。

池邊このみ

全国団地景観サミット

UR 賃貸住宅フォト & スケッチコンテスト

入選作品集



最優秀賞

サッカー少年

浦安マリナイースト21(千葉県)

多和 裕二

「浦安マリナイースト21」は、海風の街・望海の街・潮音の街・海園の街が一体となり、素晴らしい景観を形成しています。当団地のすぐ隣に、芝生が整備され緩やかな起伏に富んだ、明海の丘公園があり、住民の憩いの場となっています。URの住宅に住み、地元小学校に通う、福田京太郎君は、友達とよくこの公園で遊ぶそうです。今日は大好きなサッカーを友達と楽しんでいます。小高い丘からナイスキック！

審査員からのコメント

サッカーをする子供達の歓声が聞こえてくるような躍動感のあるすばらしい写真です。背景の住棟も整然として静と動の対比を演出しています。(西村幸夫)

団地の建物に囲まれ見守られて遊ぶ子供達。少年の躍動感が良く撮れています。(桐原武志)



優秀賞

今日は布団干し日和だよー

月島一丁目（東京都）

高木 政史

大都会では布団干しが出来る時間は少ない。大切な布団干しが出来る日は、どこの家でも貴重な光を求め布団を干します。そんな自然の恩恵をうけている大都会の一部の姿を絵にしてみました。

審査員からのコメント

東京にくらす 下町にくらす 月島にくらす 朝日にも夕日にも映えプラタナスの並木通りの人々 みんな生き生き都市風景（進士五十八）

無表情なものに思われがちな“団地”をこんなにカラフルに、こんなに表情豊かに描いてくださるなんて!!こちらまでうれしく楽しい気持ちになりました。タイトルも素敵ですね。人と人とのつながりが深く濃い下町での暮らし方っていいですね。忘れかけていた何かに気づかせてくださる作品でした。（城戸真亜子）



優秀賞

一番星

落合（兵庫県）

松尾信哉

一番星の出る時刻、各家からは、光と一緒に、夕飯の香りも漏れてきていました。この時間帯に、「どこかの家からカレーの香りがする。」と言って、帰宅してみると、我が家がかレーだったときほど、嬉しいことはありません。

審査員からのコメント

若い頃、私も団地に住んでいました。仕事から帰ってくる私を迎えてくれるのは団地の窓からあふれる灯でした。
（桐原武志）

優秀賞

入学式の日

ブロムナード矢部（神奈川県）

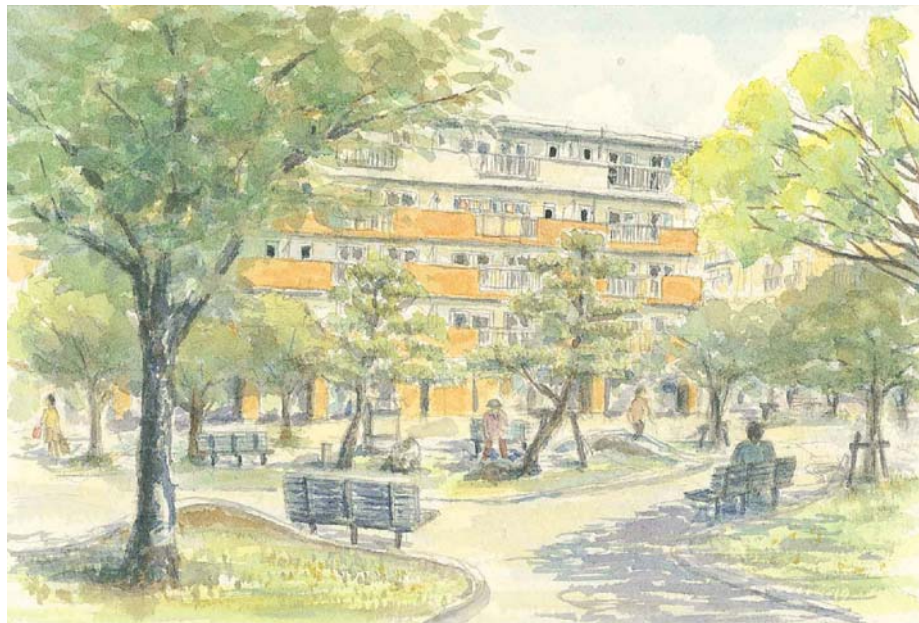
田中和夫

団地のとなりの桜並木。入学式に出る前に記念撮影をしていた親子。満開の桜の下でのしあわせな風景。

審査員からのコメント

記念写真を撮りたくような桜並木が身近にある環境。
うらやましいですね。（西村幸夫）





優秀賞

団地のオアシス

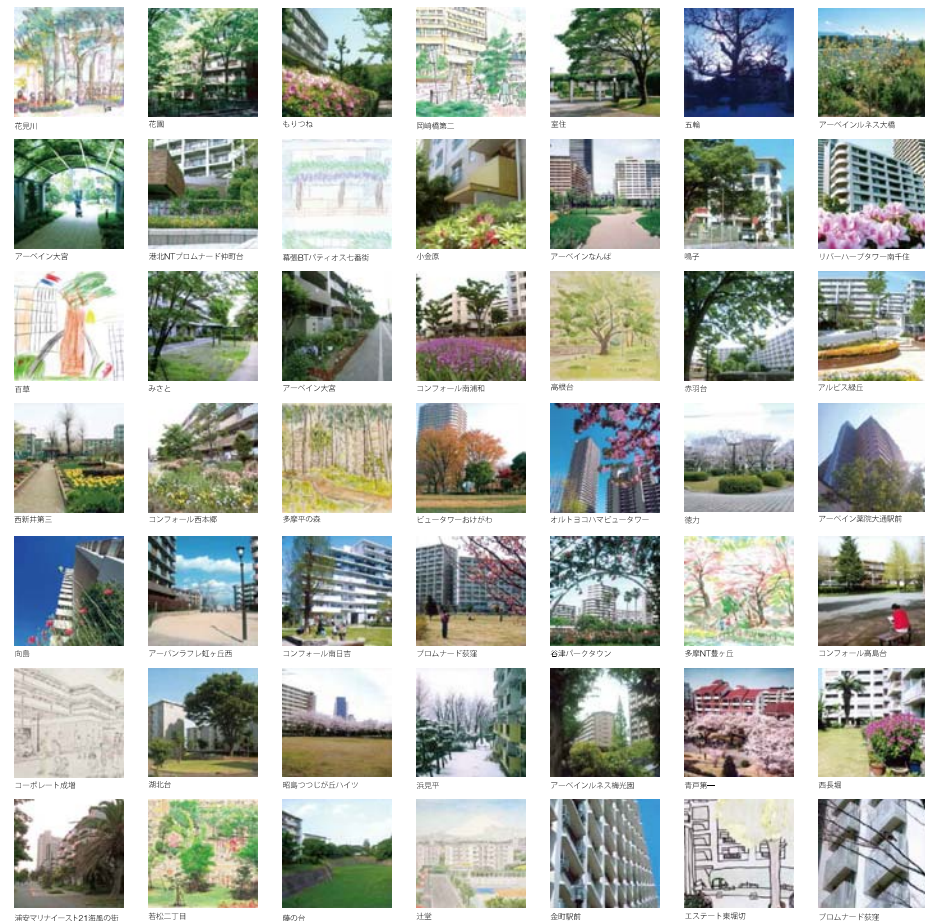
新金岡第一（大阪府）

榎知子

団地の南側に中央環状線、東側にはま線という交通量のはげしい道路が通っています。しかし団地内へ一歩入れば、大きな木々が木陰を作り、鳥たちのさえずりが聞こえ、時間がゆっくり、静かに流れています。

審査員からのコメント

建物に静かに見守られているような安らかな空間は、緑も豊かで、言われてみればほんとうにオアシスのようですね！描写力があることはもちろんですが、それ以上に作者の穏やかでやさしい目線に魅力が感じられる素敵な作品です。（城戸真亜子）





特別賞_コミュニティ風景賞

超世代の群像

アルビス緑丘（大阪府）

小倉 一平

団地は、人々の暮らしの場である。周囲の環境に対して主張し過ぎない住棟と遊び場を中心とした世代を超えて交流できる豊かな屋外空間が団地の資産だと思う。今後も暮らしのある風景を育ててほしい。

審査員からのコメント

人智不老 世代代々人間の知恵をつなくこと、花と緑と鳥、遊び場はみんなの絆（進士五十八）



特別賞_声が聞こえてくる風景賞

雨にも負けず元気です

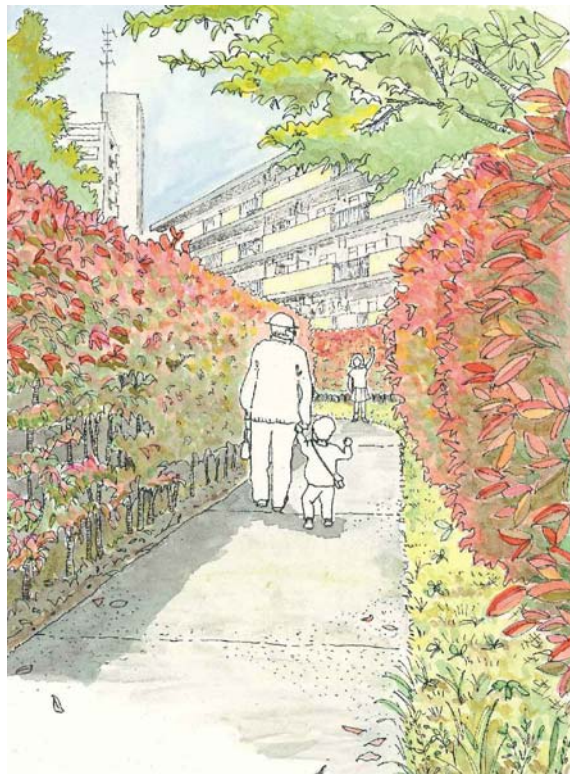
豊四季台（千葉県）

森 皓平

団地中央にある八百屋さんの写真です。昔は団地に沢山の人がいて、商店街は賑わっていたそうです。今はお年寄りが多くなり、団地の元気がなくなっています。そんな中でも雨の日に元気よく野菜を売っている八百屋さんは団地全体に勇気を与えているようです。

審査員からのコメント

豊四季の八百や力 雨にも負けず風にも負けず イラッシャイ イラッシャイ 力強い掛け声が、生業の渾みが豊四季台すべてを、元気にしてくれる（進士五十八）



特別賞 ― やさしいみどり賞

紅カナメの道

多摩ニュータウン
タウンハウス 永山（東京都）

山田 愛子

背よりも高い紅カナメに囲まれた小道は、なんだか迷路のようでそこを通るだけでワクワクする。古い団地にはそんな住経験の小道や背の高い生垣、かくれんぼにぴったりの茂み、木登りしやすい灌木などがある。こうした場所こそ子供達にとっては格好の遊び場であり、秘密基地となる。実際にはどこからでも木々の間から建物が見えて、いつも誰かに見守られているような安心感に変えられている。

審査員からのコメント

いつも誰かに見守られている心やさしい紅カナメの道。心あたたまる光景です。
（西村幸夫）

特別賞 ― 風格を感じる風景賞

藤ノ木団地

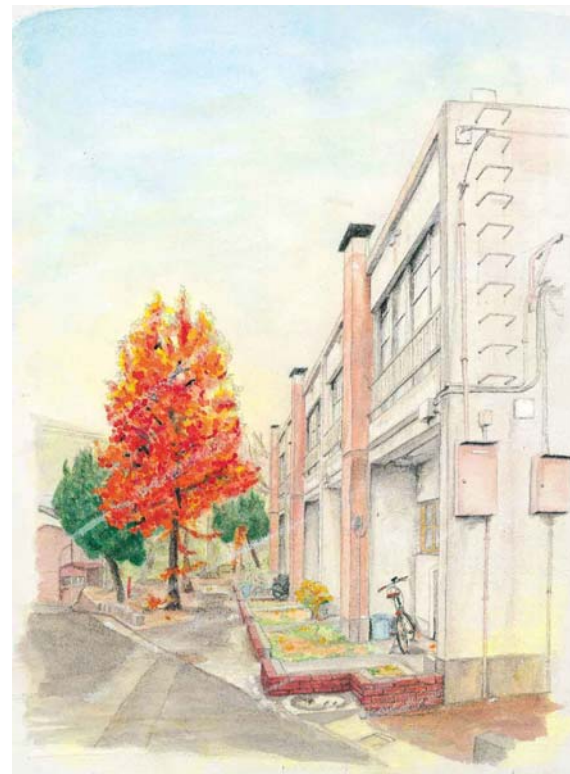
藤ノ木（福岡県）

矢野 正徳

昭和30年代に建てられた古い団地ですが、大きく育った樹木やされいに手入れされた玄関先の空間等、とてもきれいな団地で住民の方の愛着をひしひと感じます。水平連続窓の正統的なモダニズム建築の建物デザインは、かっこ良くもありかわいくもあります。紅葉の時期をスケッチしたのですが、紅く染まった大きな樹木のある玄関先の空間は、少し物寂しげではありますが、何とも言えず良い雰囲気です。

審査員からのコメント

長い年を重ねた建物にはビカビカの新しい建物にはない雰囲気があります。一寸と寂しいけれどそんな建物に愛情を注いでいる絵が好きです。（桐原武志）





特別賞_夢みる団地賞

私の一番好きな場所

立花一丁目（東京都）

藤井 榮奈

物騒な世の中なので、今までは親同伴の行動が殆どでした。でも4月からは、時間を決め1人で公園に行き帰るようにしました。娘が毎日自分で友達と約束し、近いけれどたまに道に迷いながら行く、いつもの公園は、遊園地みたいな明るくキラキラした場所なんだと思います。

審査員からのコメント

カラフルな団地の建物が素敵ですね。チョウチョやお花、動物のお友達が輪になって踊っているようで楽しい作品になりました。筆の勢いもあっていいですね。音楽が聞こえてくるような魅力的な作品です。（城戸真亜子）

入賞_01

木道のある団地

多摩平の森（東京都）

川田 武雄

私の住む団地は広い森に野草の花が咲き乱れています。その中に長い木道があります。春夏秋冬、住民の憩いの場所です。

審査員からのコメント

雨に濡れた木道が静けさを増幅して魅力的な風景を一層引き立てています。（西村幸夫）



01



03



04



02

入賞_02

森の石

多摩平の森（東京都）

中川 直人

多摩平団地の建替のときに新たに設置された石ですが、なぜか昔からあったようにしっくりなじんでいます。住民も愛着をもっており、愛称もあるようです。子どもたちも石に登ったり、すべったりと。四季の変化にもよくあうふしぎな石です。

審査員からのコメント

子供達が石に上ったり、すべったりしている姿を想像すると、人工的な遊具がなかった頃の木登り、川遊び、土手すべりをした頃が思い出されます。（桐原武志）

入賞_03

春の音が聞こえる？

サンヴァリエ日吉（神奈川県）

毛見 久恵

まだ少し肌寒い春の日の午後、団地内に響いていた子供達の声が急に止んだ。ふと見ると……。

審査員からのコメント

春の音、ほんとうに聞こえてきます。（進士五十八）

入賞_04

白樺の小道

大森園町（北海道）

星 野 則 子

そんなに長い道ではないが、団地の中の白樺のかわいい道です。やっと若葉が出て、これからが一番良い季節を迎えます。

審査員からのコメント

太陽の光に照らされた白樺の並木、早春の空気のすがすがしさが伝わってきました。（池邊このみ）



05

入賞_05

静寂の緑

花見川（千葉県）

渡辺 志のぶ

30年程、住んでいる私の大好きな大切な団地です。昼間は家族づれや老夫婦の姿。さまざまな年代のかたでにぎわっている公園。春にはお花見。夏は水遊び。そんな憩いの場も夜になると、外灯で緑のカーペットが浮き上がり幻想的な世界に。変わらないでほしい風景です。

審査員からのコメント

外灯にでらされた緑のカーペットという表現がびったり。楽しげな姿が浮かんでくる作品です。(池邊このみ)



06

入賞_06

移動図書館

コンフォール南日吉（神奈川県）

野村 悦子

お昼ごはんが終わってほっとしていると広場にポツリポツリと人が集ってきます。今日は月に2回の移動図書館の日です。春の日差しがポカポカと気持ちよく集っている人達も楽しそうです。最近本離れ・・・なんて聞きますが、ここでは沢山の人が本を借りにきます。私は歴史小説にはまっています。皆さん本を沢山読みましょう。

審査員からのコメント

読書三昧 本を読むのは嬉しい 本好きの仲間が集う緑の隅だまりは天国 (進士五十八)



07

入賞_07

ようやく春

大森宮町（北海道）

福森美悠紀

冬の間雪に埋もれていた地面が、タンポポでいっぱい。見ているだけでウキウキしてきます。

審査員からのコメント

北国の春を待ちわびる気持ちとたんぽぽの生命力が心をうちました。(池邊このみ)

入賞_08

早春を摘む

多摩平の森（東京都）

岩崎 ケイ子

何げなく無心に花を摘む少女を見付け、近づきました。少女は知人のお嬢さんでした。知人は、こんな素晴らしい環境の所に住めるなんて最高!!の一言です。かつて私が居住していた頃の面影は、この大木のみにあります。現在近代的建築物に姿貌しましたが、遠い昔の子育て時代この団地で送った事を少女に重ね合せ懐古の思いにひたったひと時でした。

審査員からのコメント

森の大木の根元に咲く可憐な野草と少女、物語を感じました。(池邊このみ)



08



09

入賞_09

森の中にある団地

小山田桜台（東京都）

井出野芳枝

足立区一丁目より昨年越してきました。気管支炎がしつこくて大変だったのですが、引越した後すっかり治り発症しません。環境がとてもよく、のどにも空気がよくはたらいております。花粉症は依然ひどいのですが、それが治れば最高です。

審査員からのコメント

鳥のさえずりが聞こえてくるようです！近景の色彩やかな花々、遠景の建物をとりかこむ光あふれる森、そして、その間をシルエットの木立がリズムミカルに配置されていて、構図、描写力、共に力の感じられる美しい作品ですね。私もこんな場所で暮らしたい！と思いました。（城戸真亜子）

入賞_10

山に抱かれた賑わいのある街並み

多摩ニュータウンリベレ向陽台、
多摩ニュータウンビュプラザ向陽台（東京都）

山田衣菜子

多摩丘陵の一角に広がるリベレ向陽台は、自然と都市が絶妙に融合しているとてもユニークな街です。ゆるやかに傾斜する地形に沿って、中心から山手方向に低層から中層、高層住宅が建ち並び、バス通りにはスーパーやパン屋、診療所、郵便局などに混じって、大小の公園や高層住棟へと延びる大きな階段状広場が面しています。賑わいのある通りを歩きながら、葉の波と背景の山々の美しいコントラストを眺める楽しさいっぱいの街です。

審査員からのコメント

ザ団地ともいえるニュータウンの風景を楽しく描いていただきました。大事にしたい一景です。（池邊このみ）



10



11

入賞_11

小鳥も住む団地

三鷹台（東京都）

佐分利友木子

団地の中の遊歩道には、睡蓮の育つ池があります。池の周りには水生植物が茂り、小さな鳥小屋からは小鳥の家族が顔を見せてくれます。この池にはカルガモも住んでいて、スケッチ中にも子供たちがママと一緒にカモさんを見に来ましたよ。茂みの向こうはすぐ公道なので、団地の中まで踏みこまなくても立ち寄ることができます。静かな木陰にベンチもあって、近所に住む私にとっても、素敵なかくれ癒しスポットなのです。

審査員からのコメント

睡蓮の池とカルガモと巣箱、生きものあふれる豊かな団地。クリスマスローズも素敵です。（池邊このみ）

入賞_12

二本杉の見える桜道

中登美第三（奈良県）

渡邊正枝

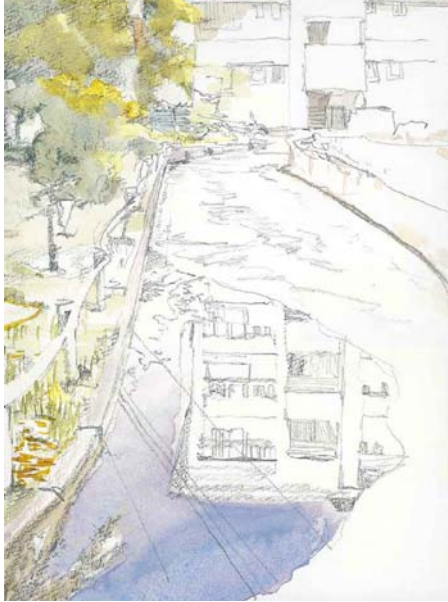
両側に桜並木が続くこの道を私達は桜道と呼んでいます。桜の季節にこの道を歩くと桜吹雪の中、背の高い杉の木が2本見えます。公園で遊ぶ子供達や行きかう人達を見守るようにそびえる木々は、この団地の長い歴史を物語っているようです。私はこの団地を清掃していました。暑い時も風の日や雨の日も、この団地の様々な風景に慰められていました。これからもこの風景が、ここに住む人達と共に、歴史を刻んでいくことと思います。

審査員からのコメント

「桜道」にこれからも楽しい思い出が刻まれていくことでしょう。（西村幸夫）



12



13

入賞_13

水たまり

神代（東京都）

増田 浩子

私は日頃散歩をするのが好きで、特に近所の小さな家々は、洋風なものから和風のものまでさまざまで、細々とさまざまな色のいりまじる景色こそ日本らしさではないかと思っています。ひとときわ、団地というたくさんの人が住まう大きくも細かく区切られた建造物に、私は魅力とあたたかさを感じています。雨上がりの帰り道、偶然出会った水たまりを描いてみました。

審査員からのコメント

お母さんにおかれながらもビチャビチャ歩いた水溜り。水に映った建物にそんな懐かしさが重なりました。
(桐原武志)

水たまりに映った団地の風景。何気ない日常のなかから美しさをすくい取る目線が素晴らしいと思います。えんびつの線も魅力的。余白のありかたもいいですね。秀逸な作品です。(城戸真重子)



14

入賞_14

日曜日の雲梯と妻

ウェルシティ横須賀ポートバレーヌ（神奈川県）

前田 真邦

久々に晴れた日曜日。友人が住むマンションにある公園のウンティに上り、童心に返る妻。それを下から覗いてニヤリとするワタシ。



15

入賞_15

老桜

アーバンラフレ虹ヶ丘西（愛知県）

岡田 忠彦

この桜は建替前の桜が移植されたものです。建替後10年になりますが、今年も元気に咲いてくれました。つつかい棒も何本もあり、枝先も何力所か切られて痛々しい姿ですが、生命力のすごさを感じます。私はもうずいぶん前になりますが現役の頃は公園住宅で働いていました。今は足が少々痛みますが他はいたって健康です。毎年この桜から元気をもらっています。



16



17



18

入賞_18

団地の春

住吉（大阪府）

岸本 宏

この桜と共にこれ33年目。娘2人が嫁いだ後、孫6人と賑やかに過ごすのもまた味わい深いものだ。

入賞_16

威風堂々 自分にもプロみたいな写真が撮れた

サンヴァリエ桜堤（東京都）

藤原 純夫

周辺に桜がきれいな団地は？と聞いて教えてもらったのがサンヴァリエ桜堤。たまたまURの今年のカレンダーの3月のところで、印象に残っていたこともあり出掛けて行ってみました。棟によって外観が全部違うヴァリエーション。広場や植栽、ミニ公園の配置などに驚きながらも、この望々とした風格品格に圧倒され、感動して撮った1枚です。芝生でお花見会の光景もあったし、ここに居住の方々の「幸せ」を感じた、素敵な団地でした。

入賞_17

自然の恵みの中で

グリーンヒル寺田（東京都）

原田 憲一

京王高尾線めじろ台駅から10分程。ここが東京かと思う位の緑に囲まれた所に「グリーンヒル寺田」があります。自然の丘陵地に自然との調和を図り、そしてそれを育てることをポリシーに創られた団地群は今、建設から年月を経て見事にそのコンセプトが実を結び、太陽と水と緑の恵みの中に生き生き伸び伸びの生活空間を創り上げています。新緑の季節に小路を歩いていたら鶯の囀き声が聞こえ、本当に住んでみたくなりました。

入賞_19

想いが景色を作る

原（福岡県）

大坪 空也

団地の中には光・緑・風が溢れています。幼い子供に感じてもらいたい自然のすばらしさ、美しさが存在します。風景は季節ごとに様々に変化し生命に満ちた空気を生み出し、環境が人の心を育みます。古い団地ほど設計者の想いが色濃く残っているような気がします。効率とか安全という近代思想ではなく優しい心配りに包まれています。そんな景色を維持してくれているのは心優しい掃除のおばさんである事も私は忘れてはいけません。



19



20



21



22

入賞_20

いやしのシンボル大樹

コンフォール仏向町（神奈川県）

栗原哲夫

丘の上に建つ私の住むマンションには、下から見上げるとちよつとかっこいい大樹が生えています。夜にはライトアップされるこの樹は、駅からの長い坂道を、鈍った体を引きずるように、フーフーと言いながら上ってくる私に「今日でも苦勞さん」と言ってくれているようで、いやしや安心感を与えてくれる、このマンションのシンボル大樹です。

入賞_21

山のぼり

北砂五丁目（東京都）

井本佐保里

大学での調査を兼ねて団地内保育施設でボランティアをした際に撮影したものです。団地内の広場へお散歩に出かけ、広場にある「プリン山」を1才児が一生懸命登っています。秋の涼しい気候の中、気持ち良さそうにプリン山にへばりつく子。山のてっぺんで得意そうな子。団地の広々と緑に囲まれ、安全な遊び場は、小さな子供たち、特に都市に住む子供にとって豊かで貴重な存在なのだと実感しました。

入賞_22

博多べい

アーベイン東比恵駅前（福岡県）

金子幾代

博多駅から約1kmの都心立地の高層団地で、4棟10階～14階建てで349戸の世帯が生活。環境づくりは緑と歴史との相乗効果で、都心の高層街にしては、心和みます。博多べいは団地のエントランスとして現代との調和を保っていると思う。案内板では、1587年秀吉による戦災復興の町割りを語り継ぐ土堀で、伝統技能士の指導のもと完成したという。当時のものは櫛田神社の他2カ所に残るのみ。この地も刻々と趣を蓄えていくようです。

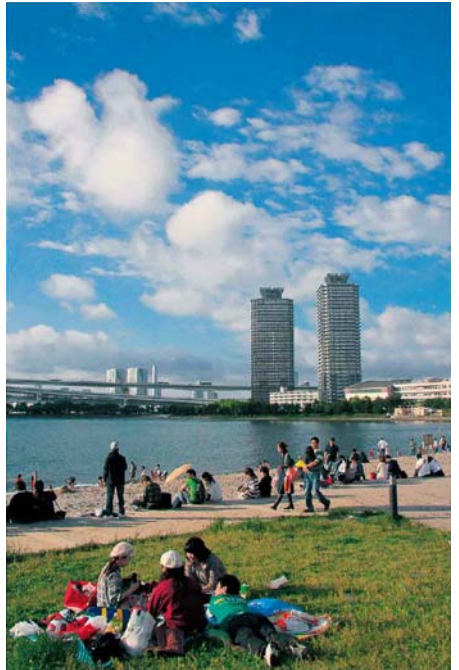
入賞_23

青空と海と緑を満喫

シーリアお台場一番街（東京都）

鹿島秀夫

このUR団地の近くには、お台場海浜公園と第三台場があるため、青空と海の他に緑も豊かで、四季の花やイベントを楽しむことができます。夏の海の灯まつりや東京湾大華火祭の花火やクリスマスシーズンのイルミネーションの夜景や富士山は特にすばらしく楽しむことができます。また商業施設等も十分に備わっています。



23



24



25

入賞_24

26年前も。これからも。

岩成台(愛知県)

松本理恵

5歳の私。幼稚園で散歩の時間に初めて連れて来られた時は、その長さや傾斜に驚き、すべてを試みたら迫力満点。すっかり気に入ってしまった。もうすぐ親元を離れて10年が経つ。仕事や恋愛に悩むと突然帰郷して、経豊かな公園の道を抜ける。誰もいないすべり台。童心に返ってこっそりすべてを試みたり、近くのベンチに座って心地よい風に吹かれてみたり。20数年間、変わらず世話になっている。

入賞_25

羨望

シーリアお台場三番街(東京都)

高尾久男

平成8年シーリアお台場の入居が始まって以来、このお台場周辺地域の発展は目覚ましいものがあり、なお、現在進行形である。都心に近く、交通、商業施設、観光施設等「働く、住む、遊ぶ」のバランスのとれた地域として一度は、憧れのベイスайдで暮らしたいと思う人は多いのではない。住宅の目の前の砂浜でのイベントやライブ等に人々が多く集まり、騒がしいと感じるのではない。でも、夕日が沈む時を高層階から見てみたい、私は。



26

入賞_27

春の香り

新豊里(大阪府)

中森康夫

絵を描いた場所は家から自転車で行ける距離にある大変落ち着いた場所で、その河川敷からは、団地と春の草花が調和していて、とても美しい景観を見ることが出来ます。スケッチした日は、穏やかに晴れ淀川の河川敷には春の草花が咲いており、春の自然のいい香りが漂っていました。是非この風景を描いてみたいと思います応募しました。



27

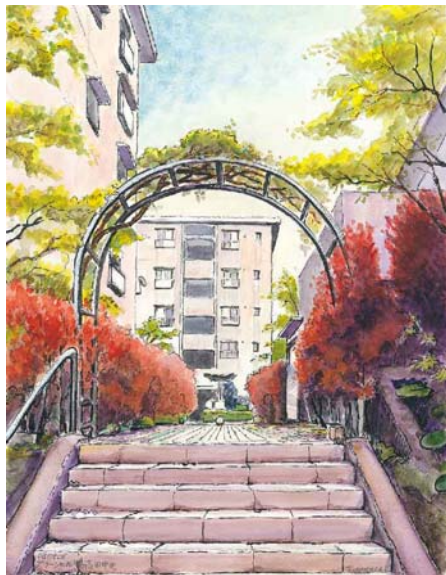
入賞_26

初めてのお花見

相生山(愛知県)

北田一予

子供が産まれてこの団地へ引越してきました。決め手は緑豊かで公園が多いことでした。実際に住んでみると少子化にもかかわらず、沢山の子供たちが元気に良く挨拶してくれるし、散歩中のお年寄り優しく声をかけてくれます。自分の子供の頃を思い出して心があたたかくなりました。この団地で、子供が健やかに育ってくれることを願い、楽しく暮らしていきたいと思います。



28

入賞_28

ナイスアプローチ

グリーンヒル鴨志田中央（神奈川県）

菊池 威

散歩スケッチを楽しんでいるが、団地というのは人工的につくられた空間というイメージがあってモチーフとしてとらえることは滅多にない。今回は、たまたま通りがかった団地の一角でフット目に入った光景に心が動いた。団地の中に引き込むアプローチがすばらしいと感じた。光の具合とベニカナメモチの赤い若葉が明るい雰囲気をももたらしていた。



29

入賞_29

シンボリックな塔屋・煙突

天神橋（大阪府）

加藤 明

昭和30年代の関西の市街地住宅の設計デザインに共通した素材の1つに透かしブロックがある。エントランスや1階廻り及び塔屋にデザイン要素として採用されている。天神橋市街地住宅は、その塔屋のデザイン性や、その上部のシンボリックな煙突が特徴的であり、地域のランドマークとして機能していた時代もあったのでは?と思う。又、中庭空間を引きしめる効果も大である。当時の設計は非常に密度の高いものを感じる。



30

入賞_30

新緑のみずき街

百合ヶ丘みずき街（神奈川県）

篠原 成勝

久しぶりに訪ねた街はすっかり新しくなっていた。花水木の街路樹の花に彩られた団地の中庭には、昔からの大きなケヤキの新緑が柔らかな輝きで一面の空気を透過させていた。



31

入賞_31

団地は春爛漫、桜花を愛でる。

小平（東京都）

大久保 三男

小平団地誕生と共に入居し、はや44年、往時の若木は育ち、見事な林を形成している。中でも、この遊歩道沿いは、桜、樺、銀杏、黒子、木蓮、紅葉、藤棚まで多彩。季節毎に人の目を楽しませ、いやしてくれる。対象の桜樹は幹周リ3米余、風雪を経て幹は節くれ立ち、青苔を帯びた皮肌は皺が深く刻まれているが、どっしりと座って根を下ろし、しっかりと枝を張って今年も、端麗に開花して見せた。



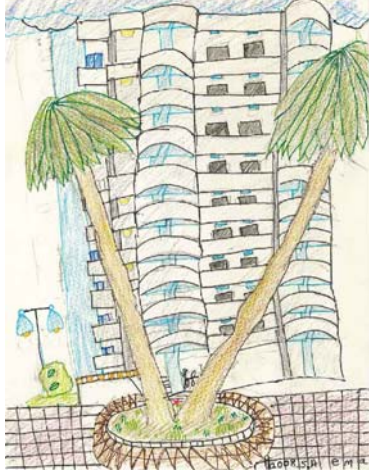
佳作

輝く夜

青戸第一（東京都）

斎藤祐一郎

この写真を撮っている際、昔から青戸公園に住む方と話をしていました。建替前から約50年、この桜はずっと団地の風物詩になっているのだそうです。そんな桜が咲くと、普段は暗い夜の団地がパッと明るくなります。ずっと残してほしいなと思います。



佳作

木の中に見える団地

ビューコート小港（神奈川県）

水井英栄

ハワイは行ったことがないけれど、やしの木と海がハワイみたいだから書いてみました。



佳作

昔も今も

蒔田（神奈川県）

豊島碧

このスケッチは、蒔田団地にある広場を描いたものです。団地に住んでいる人達からは、おばさんひろぼと呼ばれ、おばひろという愛称で親しまれています。この桜が団地の中で一番大きくて、きれいです。いずに座っているのは、赤ちゃんだった頃の私と、私のおばあちゃん、いとこのお姉さん2人です。団地の風景はだいぶん変わりましたが、この桜の木は昔から変わりません。蒔田団地で遊んだときのことを思い出しながら描きました。



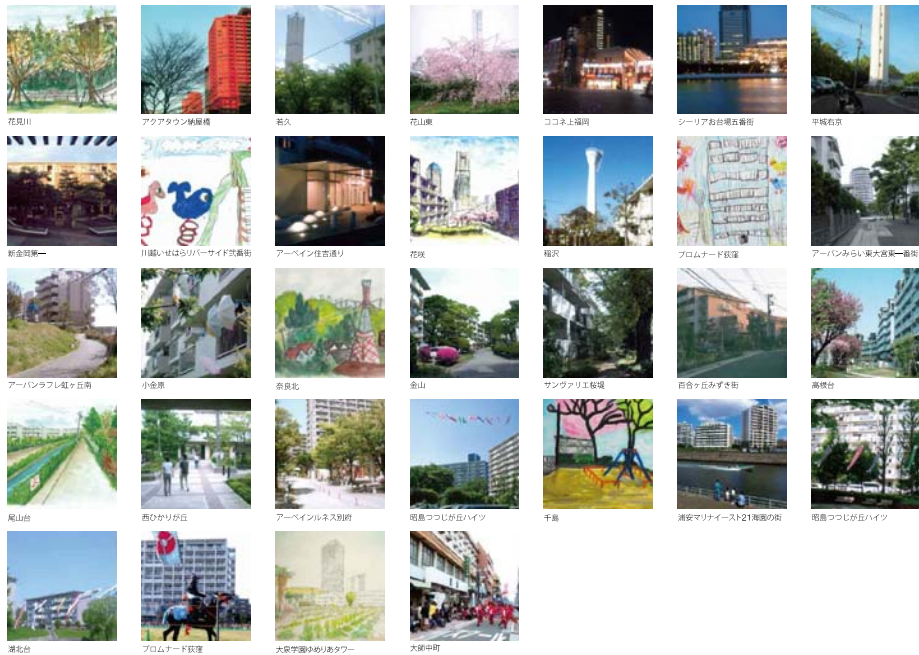
佳作

つくし…みーつけた！

ブルムナード荻窪（東京都）

上川凜

はるになると つくしもよもぎも たんぽぽも たくさんのおはなが さくよ。



コンテスト属性データ

全応募作品513点中、写真445点、スケッチ68点と圧倒的に写真の応募数が多く、スケッチは全体の13%でした。

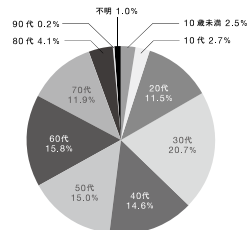
応募者の年代については、最年少は2歳から最年長は90歳と幅広く、特に30代が多いほかは、各年代に分散しています。

応募作品の団地は、北海道から九州まで、全国各地にわたりましたが、特に団地数が多い大都市圏に集中しています。

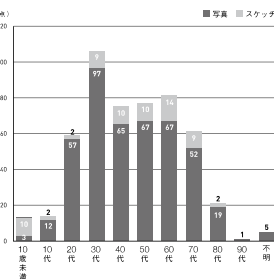
作品の構成要素は街並み、通路などの風景が一番多く、次いで、広場・公園、人物の順です。

今回は応募期間が春であったことから、桜や新緑を対象とした作品が多く見られました。これらの結果により、身近な風景は、街並みや広場や緑が重要なポイントであることが再認識できました。

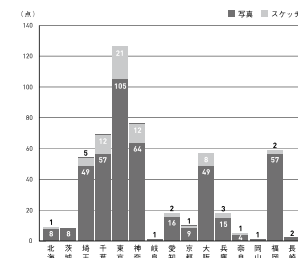
年代別応募者比率



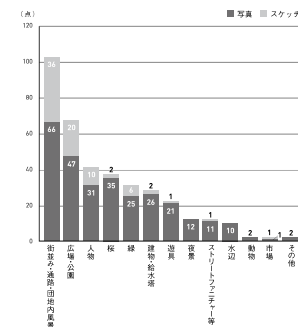
年代別 応募作品数



団地の都道府県別 応募作品数



応募作品における構成要素





UR

UR都市機構

街に、ルネッサンス